

採用案内

(建築職・電気職・機械職)

官庁営繕

- 国の建物をつくり、活かす -



国土交通省 北陸地方整備局 営繕部

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism
Hokuriku Regional Development Bureau, Government Buildings Development



金沢営繕事務所

Kanazawa Government Buildings Office

営繕部の業務



「国の建物をつくり、活かす」

全国各地に、国が行政を行うための国家機関の施設（合同庁舎、税務署、ハローワーク、法務局など）があります。

これら官庁施設の整備や保全に関する仕事が「官庁営繕」です。

官庁施設は、行政サービス提供の場としてだけでなく、災害時の防災拠点や、地域の交流拠点としての役割を担っています。

私たち営繕部では、新潟、富山、石川県内の官庁施設がこれらの役割を果たし、また、より良質な建物となるよう、施設整備の企画立案から、設計、積算、施工、保全の指導に至るまで、トータルコーディネーターとして仕事をしています。

このほか、公共建築分野での先導的な役割を果たすべく、公共建築工事の発注機関（県や市町村）に対して、国の施策の展開や各種取組の情報提供を行っています。

※営繕とは、「建築物の営造と修繕」のことをいい、建築物の新築、増築、改築、修繕、模様替等の工事を指します。

官庁営繕のミッション、ビジョン

国土交通省の官庁営繕では、「ミッション（根幹的使命）」と「ビジョン（目標）」を定めており、コンプライアンス（法令・社会規範の遵守）を前提に、これらの実現に向けて具体的な取組を実施しています。

ミッション（根幹的使命）

国民の共有財産である官庁施設に関して、良質な施設及びサービスを効率的に提供し、公共建築分野において常に先導的な役割を果たす。

ビジョン（官庁営繕の目標）

公共建築分野のリーダーとして時代のニーズなどに的確に対応し、官庁施設に関し、成果主義の観点から顧客に提供するサービスの価値を効率的に最大化すること。そのために、組織と職員の核心的能力を高める。

Q.自治体の建築部局と業務内容は違うのですか？

A.営繕部は、国家機関の建築物の営繕に特化した業務を行う組織になります。国土交通省の組織ですが、全省庁の多種多様な施設を扱っています。一方で、自治体と異なり、建築確認などの建築行政に係る業務は行っていません。

営繕部の業務の流れ

企画

企画・立案

官庁施設の建設や改修などの営繕計画を企画・立案するに当たり、庁舎に必要な機能や性能、既存の庁舎に現れている不具合の状況などを把握します。入居官署との打合せや既存庁舎の調査結果を踏まえ、機能や性能などを検討し、必要な建物性能を決めます。

予算管理・事業総合調整

関係機関と調整を行い、予算要求作業を行います。
事業の実施に当たっては、設計や工事を予定通り進捗させるためのマネジメントを行います。事業に問題が発生した際には、事業費やスケジュールへの影響の把握や対応策を講じるための総合調整を行います。

敷地調査

予定敷地の地層調査や、電気・ガス・水道などの引き込み位置などを確認します。

設計

技術基準類の整備

災害に対する安全性の確保、環境への配慮など、社会的要請に的確に対応できるように、設計を進める上での骨格となる技術的事項等を定めた基準類の作成・改定などを行います。

設計業務の発注

立案した営繕計画を設計するため、プロジェクトの視点や性能の水準など業務実施に必要な与条件を企画書として整理し、計画実現に最も適した設計者を選定します。

工事発注図面の作成・積算

現地調査の実施、企画意図の伝達など、設計者との調整を行います。

設計者の作成する図面が、基準・要望を満たしているか審査を行うなど、設計者と協力し、より良い設計を目指します。

保全

保全

「保全」とは建築物が完成してから取り壊されるまでの性能や機能を良好な状態に保ち、社会・経済的に必要とされる性能・機能を確保し、保持し続けることをいいます。営繕部では施設管理者への保全に関する指導や、会議・講習会などを通じ、保全に必要な情報の周知を行っています。

実態調査

官庁施設を機能性、耐久性、防災性能などの観点から調査・診断するための実態調査を定期的の実施し、営繕計画の基礎資料を作成します。

施工

工事の発注・工事監督

設計図を基に工事を建設会社に発注します。
監督職員は現場で施工の実施状況を確認します。
設計担当の職員は、工事受注者に設計のイメージを伝えるなど必要な調整を行います。

庁舎の完成・検査

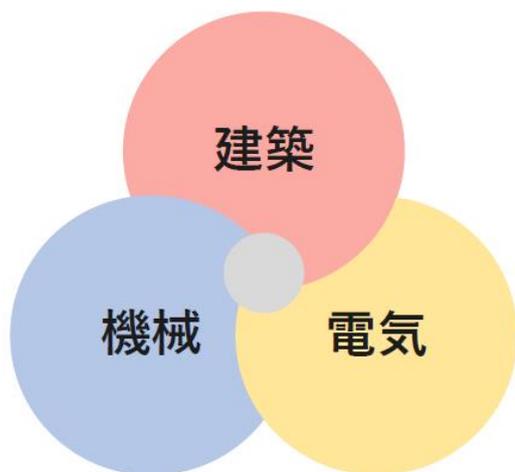
工事が完了すると検査を行います。検査の結果が問題なければ完成となり、施設を使用する施設管理者に引き渡します。

その後は、定期的に保全の支援等を実施していきます。

Q.業務を行う上で必要な資格はありますか？

A.資格の取得は必須ではありませんが、業務に関する知識をより深めるため、建築士、建築設備士、施工管理技士、電気主任技術者等の資格を取得する職員が多いです。

営繕部では、**建築職**、**電気職**、**機械職**の職員が、専門性を活かしながらチームとして業務を行い、官庁施設の整備にあたっています。



建築

- ・施設利用者のニーズや使い勝手をふまえた部屋の配置
- ・誰にでも使いやすいデザイン
- ・大地震の直後でも使用できる構造体

電気

- ・明るさや部屋のデザインに配慮した照明
- ・部屋の用途に応じた通信設備
- ・停電時でも途絶しない電力供給

機械

- ・快適な温度・湿度を保つ空調
- ・断水時でも使用できる給排水
- ・用途や規模をふまえたエレベーター

建築設備（電気設備、機械設備）

建築設備は建築物の基本的機能を支える重要な役割を担っています。

電気設備には照明設備、受変電設備、太陽光発電設備、自家発電設備など、

機械設備には空調設備、給排水設備、衛生設備、エレベーター設備など、があります。

建築設備の設計では、適切な容量を設定し、快適性を考慮したうえで、関連する法令に基づく機器選定等をする必要があります。

電気設備



照明設備



受変電設備

機械設備



空調設備



給排水設備



太陽光発電設備



自家発電設備

など



衛生設備



エレベーター設備

など

Q.建築以外の分野を専攻していても、採用に応募できますか？

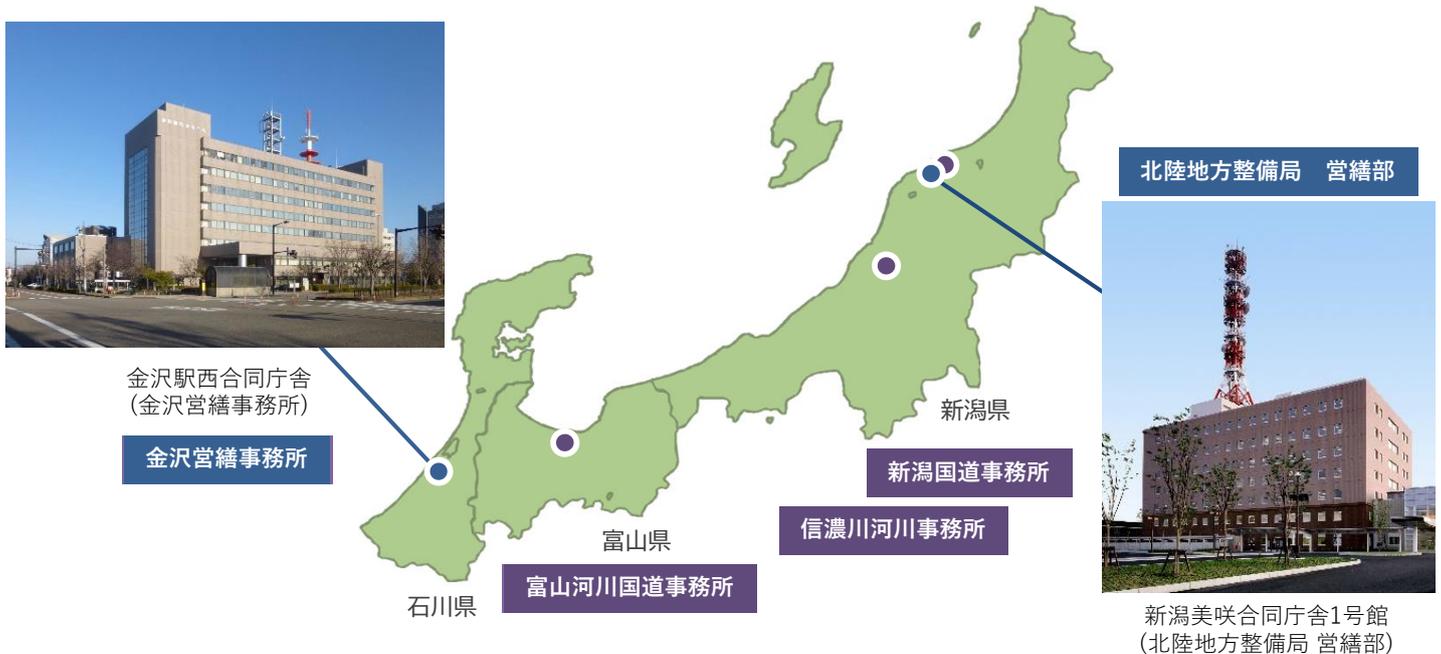
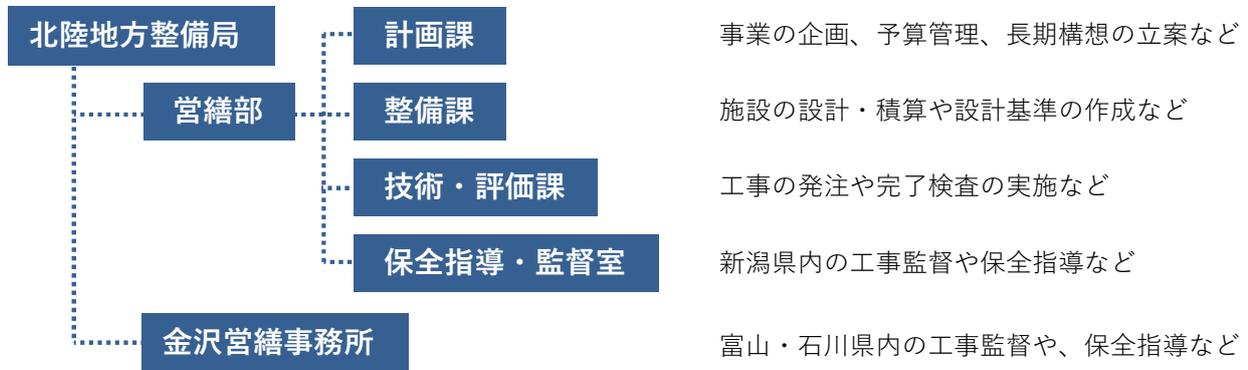
A.営繕部で建築設備を担当している職員は、建築系以外の学科出身の方も多く、当初、建築や建築設備に関しては初心者であったとしても、仕事を進めていく中で必要な知識を身に付け、専門性を深めていく方がほとんどです。

建築設備に興味を持たれた方、北陸地方整備局営繕部と一緒に働いてみませんか？

北陸地方整備局 営繕部の体制・管内図

北陸地方整備局 営繕部、金沢営繕事務所

新潟・富山・石川県内の官庁施設の整備に係る事業の企画、設計・積算、工事発注などを行っています。
また、官庁施設の工事の監督業務や施設の適正な使用と維持管理のための保全指導などを行っています。



土木営繕

土木営繕では、北陸地方整備局の事務所が実施する建築物全般の整備に関する業務を行っています。
具体的には、道の駅、整備局の事務所・出張所の庁舎・宿舍、河川・ダム管理施設等を整備しています。
新潟国道事務所（新潟市）、信濃川河川事務所（長岡市）、富山河川国道事務所（富山市）に土木営繕の担当部署があります。

Q.営繕で採用されると勤務地はどこになりますか？

A.官庁営繕の拠点は整備局（新潟市）と金沢営繕事務所（金沢市）であり、主に整備局（新潟市）で勤務することになります。なお、土木営繕の部署がある事務所の勤務となることもあります。

営繕部の取組

防災・減災

■耐震化の推進

営繕部では、官庁施設について、総合的な耐震性を確保する整備を行っています。

また、災害応急対策活動を担う国家機関が入居する官庁施設については、災害時に関係機関との円滑な連携が行えるよう、防災拠点としての整備を進めています。

整備事例 新潟美咲合同庁舎1号館（新潟県新潟市）

自家発電設備

災害対策活動に不可欠な照明や通信機器等の電力を確保します。



災害対策室

災害情報の収集・分析や、災害対応の指令などを行います。



雨水利用処理設備

非常時の給水機能と排水機能を確保します。



免震装置

災害対策活動に支障が無いよう、建物内部の人や機器を振動から守ります。



■津波対策

東日本大震災の被災を受け、関連基準等の拡充、施設運用管理と施設整備の連携による官庁施設の機能確保等の取組を推進し、津波対策の強化を行っています。

整備事例

佐渡海上保安署（新潟県佐渡市）

耐震性・対津波対策を考慮するとともに、周辺地域と調和した景観形成や、立地する両津港地区の津波避難計画と整合し、地域に寄与する整備を図りました。

この庁舎は「津波避難ビル」として使用する協定を佐渡市と締結しており、万が一の際、屋上に最大で200人が避難できるスペースが整備されています。



環境対策

■木材利用の推進

「脱炭素社会の実現に資する等のための建築物等における木材の利用の促進に関する法律」に基づく基本方針では、国が整備する公共建築物で原則木造化と可能な限りの内装木質化を図ることが規定されています。

営繕部では木造化の徹底と内装等の木質化の推進に取り組んでいます。

整備事例



▲ 木造化した庁舎の事例
(下越森林管理署村上支署)



▲ 内装を木質化した庁舎の事例
(石川運輸支局)

環境対策

■環境負荷低減に配慮した整備

建築物は、その計画から建設、運用、破棄に至るまで温室効果ガスの排出等、環境に負荷を与えています。国土交通省では、ライフサイクルを通じた環境負荷の低減を目指し、我が国の建築分野における環境対策の模範となる環境負荷低減に配慮した施設整備を推進しています。

環境負荷低減に配慮した施設整備として、エネルギー使用量等を抑制・削減するために様々な環境技術を導入しており、LED照明器具やトプランナー機器等の新技術の導入や、太陽光発電等再生可能エネルギーの活用に向けた取組も行っています。

また、水資源の有効利用を図る観点から、雨水利用・排水再利用設備の設置に取り組んでいます。

整備事例



▲太陽光発電
(石川運輸支局)



▲LED照明
(高岡公共職業安定所)



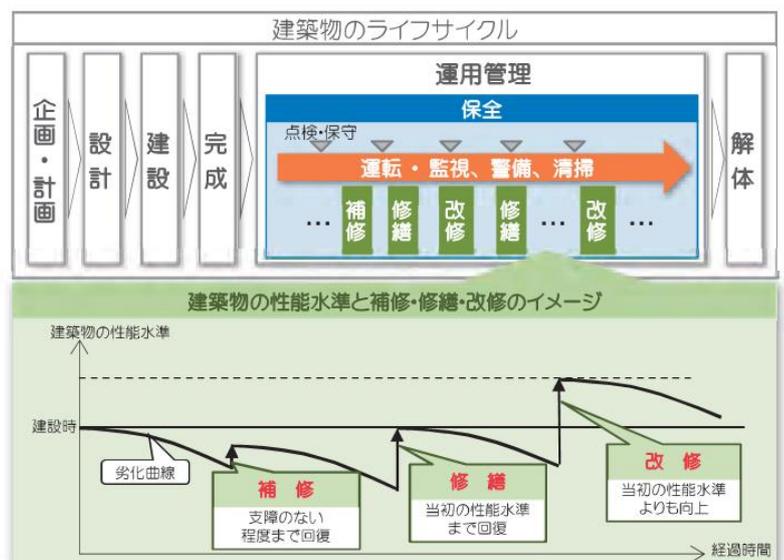
▲ルーバーによる日射の遮断
(石川県警察機動隊)

保全・長寿命化

「保全」とは、建築物が完成してから取り壊されるまでの間、安全性や執務環境等の性能や機能を良好な状態に保つほか、社会・経済的に必要とされる性能・機能を確保し、保持し続けることをいいます。

現在、築後30年以上の官庁施設が全体の約50%を占め、今後も増加することが予想されることから、適正な保全を確実に実施していくことが求められています。

国土交通省では、「官庁施設情報管理システム(BIMMS-N)」を導入し、インターネットを通じて、すべての官庁施設の基本的な保全情報等を把握・分析しています。



▲ 建築物のライフサイクル

地域との連携

公共建築は様々な場所で行政・教育・文化・福祉など重要な役割を担って建てられています。そのため、施設の整備、運営のあり方などを地域と連携し創りあげていくことが重要となります。

官庁施設の整備にあたってはその地域の特性やニーズを踏まえ、地方公共団体など地域と連携し、良好な街並みづくりに貢献するための施設整備に努めています。

また、官庁施設の整備や地域の地区整備など将来的な構想も踏まえ、地域の行政機関等と情報交換を行っています。

連携等に関する取組み事例

- ・長岡防災シビックコア地区の整備
- ・景観等検討会（佐渡海上保安署）
- ・小松市のまちづくりに寄与する合同庁舎を考える会
（小松日の出合同庁舎）
- ・ユニバーサルデザインレビュー

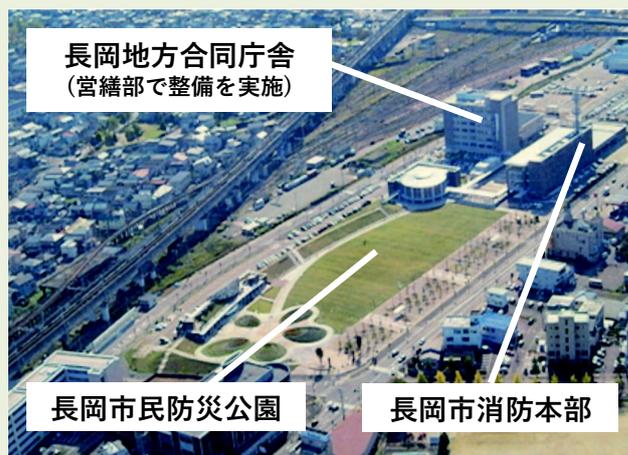
整備事例

長岡防災シビックコア地区（新潟県長岡市）

長岡市では、中心市街地の活性化及び防災機能の拠点としてシビックコア地区制度を活用した整備を行いました。

地区形成の基本方針に「日常的な賑わいが感じられる交流拠点の形成」を掲げ、魅力と賑わいの市民交流の拠点形成を目指しました。

また、消防本部や防災センター、防災公園などの一体的整備により、災害時には市民の「安心・安全を支える」防災拠点となります。



▲ 長岡防災シビックコア地区（写真提供：長岡市）

景観配慮

国土交通省では、その土地の歴史、風土、気候、景観条例等を把握し、景観や地域との調和に十分配慮し、官庁施設の整備を行っています。

整備事例

村上簡易裁判所（新潟県村上市）

村上市の歴史的町並みと調和する入母屋造りの外観や、周辺地域の色彩イメージと調和する配色としました。



整備事例

石川運輸支局（石川県金沢市）

周辺の景観への配慮として、「木虫籠(キムスコ)」と呼ばれる、金沢の町やの特徴の一つである縦格子をイメージした木製の縦ルーバーを庁舎に設け、金沢らしさが感じられる外観としました。

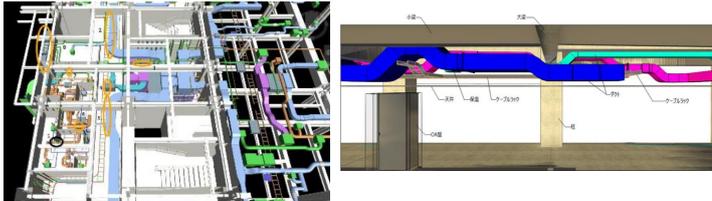


働き方改革・生産性向上

営繕部では、発注者の立場から建設現場の働き方改革を後押しする取組を行っています。また、インフラ分野のDX（デジタルトランスフォーメーション）の実現に向けて、建設現場の更なる生産性向上を目指す取組を実施しています。

■ BIM (Building Information Modeling) の取組

3次元の形状情報に加え、室等の名称・面積、材料・部材の仕様・性能等の属性情報を併せ持つ建物情報モデルを構築するBIMの活用により、設計業務及び工事の品質の確保及び事業の円滑化を図っています。



▲ 干渉チェックの検討例

BIM活用の効果

■ 設計内容の可視化

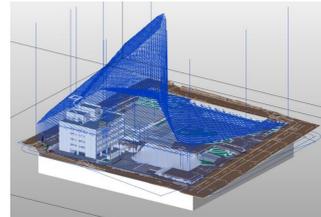
分かりやすさの向上

合意形成に有効

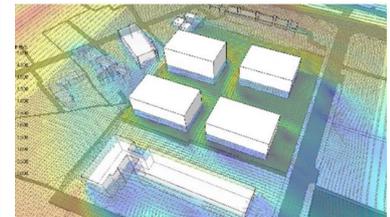
■ 建物情報の一元化・統合化

整合性の確保

手戻りのリスク回避



▲ 建築可能範囲の検討例



▲ 風環境の検討例

TEC-FORCE

国土交通省緊急災害対策派遣隊「TEC-FORCE（テックフォース）」は、大規模な自然災害時に、被害状況の迅速な把握、被害の発生及び拡大の防止、被災地の早期復旧などに取り組み、地方公共団体を支援します。

営繕部では災害発生時に、各省各庁に対して、官庁施設の被災状況調査に係る技術的支援を行うとともに、各自治体からの要請を受け、被災した自治体庁舎の被災状況調査や、建築物の使用可否を応急的に判断する「被災建築物応急危険度判定」を実施するため、TEC-FORCEとして職員派遣を行っています。

令和6年能登半島地震におけるTEC-FORCE活動



応急危険度判定調査 ▶



自治体庁舎の被災状況調査 ▶

営繕部の職員



建築 計画課 計画係長
(平成25年度入省)

入省希望者へのメッセージ

国の機関が利用する施設の整備をする仕事です。初めて携わる仕事は、わからないことばかりで戸惑うかもしれませんが、相談しやすい環境と組織でサポートする体制が揃っているので安心してください。ぜひ一緒に魅力的な街づくりをしましょう。

現在の仕事内容は？

先輩職員の指導のもと、建築の担当として設計図の作成や工事費の算出を行なっています。また、図面や法令に従って工事が行われているか、監督として確認を行なっています。

入省のきっかけは？

多くの人を支える場となる公共施設の営繕に携わるため公務員を目指しました。公共建築分野の最先端で活躍し、私の地元である新潟県だけでなく他県でも仕事ができることに興味を持ち、入省を決めました。

職場の雰囲気は？

優しく頼もしい先輩が沢山おり、困った時に相談しやすい雰囲気です。若手でも自分の意見を積極的に出すことができるので、営繕部一丸となって仕事に取り組んでいると感じます。

入省希望者へのメッセージ

多種多様な官庁施設を対象に、企画から保全まで様々な仕事に携わるので、日々新しい仕事に挑戦できます。若手職員向けの勉強会も充実しています。営繕に興味がある皆さん、ぜひ一緒に働きましょう！

現在の仕事内容は？

営繕事業の企画・立案、国土交通本省や他省庁との事業に関する調整などを担当しています。また、防災業務にも携わっています。

仕事の魅力は？

担当する事業の完了までには多くの関係者との調整が必要であり、苦労もありますが、施設が完成した際には大きな達成感を感じます。また、長きに渡り地域に貢献していく建物に携われることにすぐ魅力を感じています。

印象に残っている仕事は？

初めて設計を担当した庁舎新築のプロジェクトです。自分の育った地元の案件に携われたことがとても印象に残っています。今でも施設周辺を通る度に当時を思い出します。



建築 保全指導・監督室
保全指導・工事係
(令和4年度入省)

現在の仕事内容は？

土木営繕として、北陸地方整備局の事務所が行う建築物の整備に携わっています。現在は、主に公園や道の駅、事務所の庁舎・宿舍などの新築・改修に関する設計や積算の業務を担当しています。

入省のきっかけは？

公務員の建築職の仕事を探す中で、国家公務員や北陸地方整備局の仕事を知りました。官庁訪問を通して、多種多様な施設や、地元を含めた北陸の広い地域に携われる点に魅力を感じて、入省を決めました。

職場の雰囲気は？

少人数で和気藹々とした職場です。上司とのコミュニケーションもとやすく、業務で分からないことなども気軽に相談できます。



建築 信濃川河川事務所施設管理課
(令和3年度入省) **土木営繕**

入省希望者へのメッセージ

研修や若手勉強会だけでなく、上司や先輩のサポートもあるため営繕の知識がなくても心配ありません。産休や育休などを取得しながら活躍している方もいるので、女性でも安心して働けます。ぜひ、一緒に働きませんか？



現在の仕事内容は？

国の建築物の照明や通信などの電気設備における設計図面作成、工事費の算出、工事の監督などを主に行っています。

仕事の魅力は？

担当した建築物が完成し、施設を利用する職員や来庁者に喜んでもらえた時は、設計や工事で苦労した分だけ達成感があります。

印象に残っている仕事は？

入省1年目に設計担当として携わった新築の事業で、過去の図面を参考にしたり、上司や先輩に相談したりしながら、苦労して図面を作成した時の印象が深く残っています。

入省希望者へのメッセージ

電気の仕事といえば、発電所や周りでもすぐ目に入る電柱や電線などを思いがちですが、建築物に電気設備が無ければ、快適に建物を使用することはできません。

そのための仕事を是非一緒にやりましょう。

現在の仕事内容は？

公共建築物の空調設備、給排水衛生設備など建築設備に関する「設計」「積算」、工事の「監督」、「工事検査」の業務です。入居官署の職員や来庁者の方々が利用しやすい施設を目指して業務を進めています。

入省のきっかけは？

以前の職場では、工事受注者として建築設備の工事を担当していました。40歳間近となり、キャリアアップと、これまでの経験を地域貢献に活かすため入省を決めました。

入省希望者へのメッセージ

新卒・経験者採用で入省を考えている方、不安もあると思いますが、まず1歩を踏み出してみませんか？

その1歩を上司や諸先輩方が2歩、3歩と後押ししてくれるようなサポートやフォローをしてくれます。

新しいスタートをここから始めて一緒に働きましょう！



若手職員の一日

計画課 計画係(令和7年度入省)の例

始業 8:30 **メール&新聞記事のチェック**
窓口的な役割の部署のため、各省庁からのメールを確認します。情報収集と知識習得のため、建設系の専門紙に目を通します。

打合せ 9:30 **打合せ**
担当案件の事業進捗や課題への対応について、関係者で打合せします。

昼休み 12:00 **昼食**
局内の食堂で食べます。出張の時は、現場周辺のご飯屋さんへ行きます🍴



▲ 打合せの様子

現場確認 13:00 **現場定例への参加**
工事現場の状況を確認し、関係者と打合せを行います。様々な意見が出るため非常に勉強になります！

資料作成 16:00 **議事録の作成**
打合せ後は、議事録を作成します。不明な点は早めに担当者に確認し、修正します。

退庁 17:15 **退庁**
定時に退社します！ 友達との予定を入れたり、ジムに通うなどプライベートも充実できます🌟



▲ 現場確認の様子

営繕部の職場環境

営繕職員のキャリアパス

一般職（大卒程度）のキャリアパスイメージ

【1～7年目頃】

【8～20年目頃】

【21～30年目頃】

【31年目頃～】

係員

係長級

専門官級

課長補佐級

（事務所課長）

課室長級

スキルアップイメージ

（1～2年目）

- 担当業務の基本的な流れを習得する。
- 設計図等の内容を理解できるようになる。
- 施設整備の基本的知識を習得する。

（5～7年目）

- 受注者等と一人で打合せができる。
- 予算管理、業務工程管理ができる。
- 業務成果品の確認ができる。

（3～4年目）

- 担当業務が一通り実施できる。
- 担当業務のスケジュール作成・管理ができる。
- 業務の関係者とコミュニケーションがとれる。

（8年目～）

- 整備の要求水準を的確に設定できる。
- 施設管理者等の要望を検討、調整できる。
- 部下に仕事の指示等ができる。

研修、スキルアップ

採用1年目の営繕職員の研修、スキルアップの機会

北陸地方整備局の研修

新規採用職員研修（前期）

国家公務員としての使命、社会人としての自覚、心構え、整備局の業務、組織、所掌事務などの基礎知識を学びます。

新規採用職員研修（後期）

仕事への取り組み方、キャリアデザイン、コミュニケーションスキルを学びます。

4

5

6

7

8

9

10

11

12

1

2

3

営繕部の研修

営繕基礎研修（初級）



▲ 研修の様子

東京の国土交通大学校にて、他の地方整備局営繕部の同期と共に、営繕の専門分野に特化した内容を学びます。全国の同期と親睦を深めることができます。

※5年目には同じく同期での中級研修もあります。

若手勉強会・現場見学会



▲ 現場見学会の様子

若手職員には年間を通じて、勉強会や現場見学の機会があります。勉強会では先輩職員から、営繕の各分野の基礎的な知識の講義を受けます。現場見学会では、施工中の現場、などで、施工のポイントなどを学びます。

ワークライフバランス

フレックスタイム制

4週間を単位とした期間の中で合計15.5時間となるように、1日の正規の勤務時間を伸び縮みさせることができる制度です。

制度活用の例①

1週間計38時間45分で正規の勤務時間を伸縮し、週3は1時間早く終業。お迎えなど家庭の時間に



制度活用の例②

通勤に利用している公共交通機関にあわせての出勤・退勤など



年次有給休暇

年次有給休暇は、毎年1月に20日(4月採用の場合は初年度15日、翌年から20日)付与されます。また、未使用分は20日まで翌年に繰越可能であり、一年間に最大40日間まで保有・取得できます。1時間単位で取得可能なので、自由度の高い働き方が実現できます

1年平均取得日数 **16.6日/人** (R5.1~R5.12)

※国家公務員の年次休暇の使用実態(令和5年)より

利用できる制度

1 育児休業

3歳未満の子どもを養育する場合
▶配偶者の就業等の状況に関わらず取得可

2 産前・産後休暇

出産する場合 ▶産前6週間、産後8週間
(多胎妊娠の場合は産前14週間)

3 保育時間

生後1年未満の子を養育する場合
▶子が1歳に達するまで

4 育児短時間勤務

小学校就学前の子どもを養育する場合
▶勤務時間を短縮

5 育児時間・介護時間

小学校就学前の子どもを養育又は父母等を介護する場合 ▶1日の勤務時間の一部(2時間まで)を勤務しないことが可能

6 子の看護休暇

小学校就学前の子どもを看護する場合

7 早出遅出勤務

小学校就学前の子どもを養育、放課後児童クラブ等に通う小学生の子どもの送り迎え、又は父母等を介護する場合 ▶始業・就業時間の繰り上げ又は繰り下げて勤務

8 深夜勤務・超過勤務制限

小学校就学前の子どもを養育又は父母等を介護する場合

9 超過勤務の免除

3歳未満の子どもを養育又は父母等を介護する場合

10 介護休暇

配偶者、父母、子、祖父母、孫、兄弟姉妹等を介護する場合
▶6ヶ月の期間内で必要と認められる期間

11 短期介護休暇

配偶者、父母、子、祖父母、孫、兄弟姉妹等を介護等を行う場合 ▶年5日(対象となる要介護者が2人以上の場合は年10日)

12 配偶者同行休業

外国で勤務等をする配偶者と外国において生活を共にする場合 ▶3年を超えない範囲

Q.残業や休日出勤はありますか？

A.残業の有無やその頻度は部署や時期によって異なるので一概にはいえません。また、災害対応などで休日の出勤となる場合もあります。ただし、そのような場合は、振替休日などの制度を利用することができます。

Q.宿舎はありますか？

A.独身用宿舎や、家族で住める世帯用宿舎があり、駐車場も用意されています。宿舎に住まず、民間の賃貸住宅を借りた場合にも、家賃に応じた住居手当が支給されます。

施設整備事例

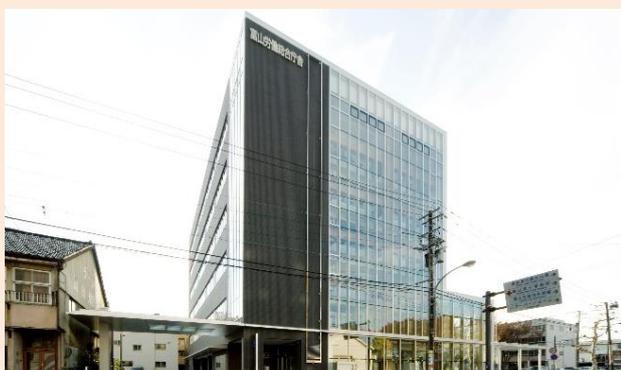
合同庁舎・一般庁舎



新潟美咲合同庁舎1号館、2号館 (新潟県新潟市)



小松日の出合同庁舎 (石川県小松市)



富山労働総合庁舎 (富山県富山市)



新潟税関支署東港出張所 (新潟県聖籠町)



松任税務署 (石川県白山市)



関東信越国税局業務センター新潟分室 (新潟県新潟市)



佐渡海上保安署 (新潟県佐渡市)



下越森林管理署村上支署 (新潟県村上市)

その他施設



石川運輸支局（石川県金沢市）



野生トキ観察施設（新潟県佐渡市）



村上簡易裁判所（新潟県村上市）



新潟県警察機動隊（新潟県新潟市）



福島潟鳥獣保護区管理観察棟（新潟県新潟市）



国立妙高青少年自然の家（新潟県妙高市）



厚生労働省米山宿舎（新潟県新潟市）

採用に関するお問い合わせ



国土交通省 北陸地方整備局

[事務系] 人事課 管理係

[技術系] 企画課 企画第一係

ADDRESS 〒950-8801 新潟市中央区美咲町1-1-1

TEL 025-280-8880 (代表)

MAIL saiyou@hrr.mlit.go.jp

「美咲合同庁舎」バス停車、
または「出来島変電所」バス停車、約400m

●新潟交通バス時刻表

<https://www.niigata-kotsu.co.jp/~noriai/route-bus/timetable/route/>



HP▶



採用HP▶



YouTube▶
(採用担当)



X▶
(採用担当)



国土交通省 北陸地方整備局 営繕部
(新潟美咲合同庁舎1号館)

〒950-8801 新潟市中央区美咲町1丁目1番1号

TEL : 025-280-8880 (代表)

FAX : 025-370-6504

HP : <http://www.hrr.mlit.go.jp/eizen/index.html>



国土交通省 北陸地方整備局 金沢営繕事務所
(金沢駅西合同庁舎)

〒920-0024 石川県金沢市西念3丁目4番1号

TEL : 076-263-4585

FAX : 076-231-6369

HP : <http://www.hrr.mlit.go.jp/kanazawaeizen/>



金沢営繕事務所
@mlit_kanaeizen